

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2104

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島大学		科目開講 キャンパス	東千田キャンパス		
2. 科目名	正式科目名	計量経済学			クラス名	
	副題				配当年次	2年次
	旧科目名	計量経済学 1			受入学年	
	学問分野	番号	23	名称	経済学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	西 埜 晴 久					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	29年 4月 10日（月）～29年 7月 31日（月） 月曜日 18:00～19:30					
個別開講日 (注: 5/1は振替授業日)	1回目 4/10	2回目 4/17	3回目 4/24	4回目 5/8	5回目 5/15	6回目 5/22
	7回目 5/29	8回目 6/5	9回目 6/12	10回目 6/19	11回目 6/26	12回目 6/30
	13回目 7/3	14回目 7/10	15回目 7/24		試験日	7/ 31
7. 基礎知識の有無	「基礎知識を必要とする科目」（統計学）					
8. 募集人数 (総授業定員)	5人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>授業は、経済データを対象とする計量経済分析の基礎理論の修得と Excel およびRなどのソフトウェアを用いた経済の実証への応用力の養成に力点を置き、実習形式も取り入れる。分析には、現実の経済データのみならず、乱数によって人工的に作成された系列も用いられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計量経済学の概要について 2. 経済データと計量経済学 3. 回帰分析の意義と限界 4. 実習 (Excel 操作 ; プロット・散布図・回帰分析) 5. 回帰分析における構造変化 (ブレイク) の検出について 6. 実習 (Excel 操作 ; t 検定) 7. 実習 (Excel 操作 ; Chow 検定と Wald 検定) 8. 系列相関の意味とその検出、系列相関を踏まえての回帰分析 9. 実習 (R 操作) 10. 回帰分析と時系列分析について 11. 実習 (R 操作) 12. 確率現象、乱数、シミュレーション 13. 実習 (R 操作 ; 乱数発生法と人工系列の作成等) 14. 回帰分析の問題点と限界 15. 実習 (R 操作) 					
11. 試験・評価方法	提出したレポートと期末試験で判断する。					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	特になし					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生 (単位付与) として受け入れ			可	否	
	聴講生 (単位認定不要) として受け入れ			可	否	